



中央地区

交通安全母の会 研修会

警視庁を見学訪問しました。



発行 (3,500部)
川崎区中央地区
交通安全母の会

事務局
川崎区役所
危機管理担当
201-3134



二月十三日(金)、東京都の桜田門にある警視庁の視察研修を行いました。テレビドラマで見覚えのある末広形のビルに入る前に、手荷物検査を受けてから「ふれあいひろば警視庁教室」というスクリーンのある教室にまず案内されます。女性警察官のお話や映像、クイズを通して警視庁の活動や交通安全、防災について学びました。

続いて、警視庁創設以来の資料が展示された「警察参考室」では、実際に犯罪で使われた拳銃や日本刀など様々な資料を見ることができました。庁内で唯一写真撮影ができるコーナーでは、一三〇〇〇の白バイに実際にまたがる体験もできました。

いよいよ 通信指令センターへ!

正面には千インチ相当の巨大なモニターが据えられ、一万分の一スケールの東京都の地図が表示されています。十五秒に一回入電する一〇番通報に対応するために、通報を受理する係が、「事故ですか、事件ですか?」と聞き、緊急性の高い事案には赤ランプを点灯させてモニターに住所表示をします。そして指令を出します。その情報を共有しながら、一番近くを走るパトカーに指令を出すなど、次々に処理していきます。

後方部には壇が設けられ、壇上には全体を統括する責任者が立って見守っています。これは警察署長クラスの見学した日は制服姿の女性警視が姿勢よくすっと立っていて見とれてしまいました。



こんな感じです↑

一番多い交通事故の通報に対しては、通報者に現在の地を的確に伝えてもらうのが大事です。知らない場所にいる時は、交通標識につけられている標識管理番号表を読み上げれば住所を特定できるそうです。また、自動販売機に住所が書かれていることも、いざという時のために覚えておきましょう。

また、絶え間なく入る一〇番通報のうち十四％は緊急性のないもので、本当に必要としている人の妨げになっていくそうです。緊急ではないけれど「詐欺の電話がかかってきた」など相談したいことがある時は#九一一〇にかければ、近くの警察本部などの相談窓口につながります。

区役所HPでの掲載をはじめました!
カラーで見ることができます!



←
こちらの二次元コードを読み取ってください!

令和8年度 春の全国交通安全運動

四月六日(月)〜十五日(水)までの十日間

スローガン

★新入学児童・園児を交通事故から守ろう

★かわさきは 安全・安心 まもるまち

年末の交通事故防止キャンペーンの実施

年末特有の交通量及び飲酒の機会の増加等による交通事故を防止するため、令和七年十二月十七日(水)に、川崎ルフロン一階イベントスペースにてキャンペーンを行いました。



トラビック体操の様子

フリーアナウンサーの新井恵理那さんが一日警察署長に任命され、交通安全についての話を伺いました。また、運転に必要な動作を取り入れた運動「トラビック体操」を皆さんで行い、会場は盛り上がりました。新入学児童絵のコンクールの入選作品が掲載されたラッピングトラックを展示しながら、川崎ルフロン周辺で飲酒運転根絶等交通安全の呼びかけ及び啓発品の配布を行いました。母の会からは役員をはじめ、多くの

街角スケッチ

「自転車の安全走行」

川崎区中央地区

交通安全対策協議会交通部長会



会長 関野 克栄 さん

本年四月一日から、自転車の危険な違反走行に対して青切符制度が導入されま

人が参加をし、幅広い世代の方に啓発物を配布することができました。



ラッピングトラックによる展示

川崎区交通安全絵のコンクール表彰式

十二月六日、川崎市役所本庁舎二階ホールにて、「交通安全絵のコンクール」の表彰式が開催されました。

れにより、双方が未然に事故を避けることが可能になります。まずは、交通ルールを守る事が肝要ですね。四月六日から四月十五日まで、春の全国交通安全運動が実施されますが、各町内会の交通部長さん主導の下で、主な交差点で交通安全啓発運動を実施しますの

本コンクールは、川崎区内の新入学児童を対象に交通安全に関する絵を描いてもらうことで交通安全への意識付けを図るとともに、地域・家庭・学校が一体となつて子どもを交通事故から守る意識の向上につなげることを目的に毎年実施されています。

は緊張した表情を見せていた子ども達も、手拍子をしたり声を出して歌ったりと、楽しいひと時を過ごしました。また、反射神経などを計測できる「クイックアーム」の体験や、児童の絵がデザインされた花王ロジスティクス



中央地区母の会会長賞受賞作品

一マンズに、表彰状授与で披露される迫力あるパフォーマンスに、「止まる・見る・待つ」を意識し、子どもや大人も互いを思いやる行動を心がけましょう。一人ひとりの小さな注意と行動の積み重ねが交通事故を防ぎ、大切な命を守る力になります。母の会一同もあたたかな見守りで安全な地域づくりを続けてまいります。

編集後記



新年度が始まり、通学や通勤の環境も大きく変わる季節となりました。慣れない道や新しい生活リズムの中では思わぬ事故が起こりやすくなります。いつも以上に「止まる・見る・待つ」